

令和 4 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番3号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,107,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集會室、事務室、 駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

●利用状況

		R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期	R2下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,577	9,158	6,924	4,631	5,825
	移動児童館利用者数	297	215	148	81	17
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※9(4)	※7(3)	※6(4)	※3(2)	1
	開館日数(単位:日)	151	155	151	94	150

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画どおり実施しました。 開館時間を16:30までとし、16:30以降30分間を館内消毒・清掃時間としコロナ対策に努めました。 ②所長1名、職員2名の3名を配置しました。(うち保育士資格1人 教員資格1人 児童厚生員2人) ③「おたより」の発行・15カ所に配布しました。(小学校5校区、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校)をしました。「ベビータイム通信」は来館された皆様、保健センターに配布しました。下半期から日光コミュニティセンターに配布ホームページはスマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせやブログも用いてタイムリーで分かりやすく配信しました。また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。気象警報発令時などの情報は、迅速にホームページにUPしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また児童・保護者を対象にアンケートを年2回実施しました(下半期は1回)苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応しました。意見・アンケート調査結果は館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。また、日頃から利用者とコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りを心がけました。 ⑤仕様書・事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、幼児室に口に入れた物を入れる箱を作りアルコール消毒を実施しました。消毒出来ないおもちゃ(本・木・紙の物)は殺菌庫を使い消毒を実施しました。また13時から閉館はしないで消毒時間を設け、おもちゃ・各部屋の消毒を実施しました。トイレの便座、洗面所、ドアノブ、自動ドア、水道の蛇口は1日3回アルコール消毒を実施しました。またコードレス噴射機を使い消毒を行いました。就労継続支援B型事業所清掃班による清掃を実施しました。業者による窓ふき・ワックス掛けを行いました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボトル及び牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。絵本・文房具の寄付を頂ききれいにし、リサイクル活用をしました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の点検、毎日の消毒、清掃を行い、遊具・玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。また日頃から職員が点検を行いました。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました。故障した玩具などはおもちゃ病院に修繕して頂きました。 (下半期35個修繕して頂きました。)
危機管理法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③、岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を維持しています。個人情報が記載された用紙は厳重に管理し、使用后シュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。消防訓練を2回実施(日光コミュニティーセンターと合同で12月・児童センター3月)しました。職員間で災害に対しての話しをし、利用者に安全に利用して頂けるよう確認を行いました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和4年12月8日～令和5年2月8日 回答者数: 80人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和4年12月8日～令和5年2月8日 回答者数: 100人(小学: 1年28人、2年11人、3年14人、4年9人、5年15人、6年9人) (中学: 1年3人、2年0人、3年9人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)無回答: 2人</p>
利用者アンケートの実施結果	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 則武(26人)、早田(14人)、城西(14人)、島(12人)、鷺山(2人)、長良東(2人)、その他市内(9人) 無回答(1人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(16%)、30代(55%)、40代(25%)、50代以上(4%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(7%)、ほぼ毎日(1%)、週2～3回(5%)、週1回(14%)、2週に1回(30%)、月1回(28%)、その他(13%)、無回答(2%)</p> <p>【来館相手】 子(89%)、孫(5%)、友人(2%)、無回答(1%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(7%)、1歳(16%)、2歳(19%)、3歳以上(25%)、小学1年(14%)、小学2年(2%)、小学3年(6%)、小学4年(1%)、小学5年(1%)、小学6年(0%)、無回答(9%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(10%)、自転車(5%)、自家用車(84%)、公共交通機関(1%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(23%)、広報紙・チラシ(9%)、学校(9%)、保育所・幼稚園(4%)、知人・友人(33%)、ぎふ子育て応援アプリ(1%)、ソーシャルメディア(2%)、その他(19%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(94%)、ほぼ満足(4%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(95%)、ほぼ満足(4%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(93%)、ほぼ満足(5%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(85%)、ほぼ満足(11%)、普通(3%)、やや不満(1%)、不満(0%)</p> <p>(整理整頓) 満足(88%)、ほぼ満足(12%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(清潔感) 満足(80%)、ほぼ満足(18%)、普通(1%)、やや不満(1%)、不満(0%)</p>

	<p>(換気) 満足(89%)、ほぼ満足(11%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 則武小(46人)、島小(19人)、早田小(12人)、城西小(10人)、岐阜清流中(12人)、その他市内(1人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(28%)、2年(11%)、3年(14%)、4年(9%)、5年(15%)、6年(9%) 中学: 1年(3%)、2年(0%)、3年(9%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(8%)、毎日(5%)、週4・5回(5%)、週2・3回(20%)、週1回(21%)、その他(39%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(13%)、友人(54%)、兄弟姉妹(17%)、父母(14%)、祖父母(1%)、親戚(1%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(25%)、自転車(34%)、自家用車(38%)、バス・電車(0%)、その他(0%)、無回答(3%)</p> <p>【好きな遊び】 バドミントン(11%)、ぬりえ(10%)、ドッジボール(10%)、ボードゲーム(6%)、本(6%)、カラム(6%)、オセロ(5%)、おりがみ(5%)、なわとび(5%)、けん玉(4%)、りぼん(4%)、その他(28%)</p>
<p>利用者からの 要望・苦情と 対処・改善</p>	<p><保護者></p> <p>・まだ数回目なのでどんな方がどのように利用されているのか、どんなルールがあるのかわかっていません。普通に利用させて頂く分にはわからなくても問題ないのですか？年齢層の違う子供たちが大勢いる時にこちらがルールを知らなくて迷惑をかけていないかなど少し気になりました。</p> <p>→ご心配をおかけして申しわけありませんでした。初めて来館された方には職員から利用の仕方を説明させて頂いておりますが、こちらの説明不足のためご迷惑をおかけいたしました。分からない事がありましたらご説明いたしますのでお声をかけていただけたら幸いです。また迷惑をかけていないかご心配をかけてしまい申しわけありませんでした。これからは利用者の皆様が不安にならないよう丁寧な対応を心がけて参ります。ご意見ありがとうございます。</p> <p>・児童館でスイッチを持ってきてやっている子がいてびっくりした。児童館は持参のゲーム機OKなのですか？</p> <p>→ご迷惑をおかけして申しわけありませんでした。日光児童センターではOKにしています。持ってきた際には無くさないよう鍵付きロッカーを利用するか、自分でしっかり持っているか子どもに話し、自分で判断し管理し使っています。以前保護者の方から、公園などでゲームをやっていると、不審者や大人(中高生)などに声をかけられ心配になった事や、大人のいない家で子どもだけが集まりゲームをしていてトラブルになった事を聞いて、自分で管理できれば、児童センターでゲームをやっても良いという事になりました。7年目になりますがトラブルなどありません。またずっとゲームをやっているのではなく、児童館の玩具や遊戯室で友達とも遊んでいます。疑問等などがありましたら、聞かせて頂けたらありがたいです。利用者の皆さんと一緒に子どもたちの事を考えていけたらとても嬉しいです。ご理解のほどよろしくお願いいたします。ご意見ありがとうございました。</p> <p>・職員室に入りこんでいる学生が気になる。職員室に入ってはいけませんと書いてあるのに何で入っているの？と子どもに聞かれて困った</p> <p>→ご迷惑をおかけして申しわけありませんでした。また困らせてしまい申しわけありません。用事のない人は入らないでね。とはりがみがしてあるのに、入っている子がいるのを見て疑問に思われたのは当然だと思います。申しわけありません。児童センターに遊びに来てくれる子どもたちの中には事務室だと安心して遊べる子、高学年、中学生になると職員と話しに来る子など様々です。事務室が安心出来る居場所になっている子もいます。そのため、事務室に入りたい子どもを無理に出す事はしていません。疑問に思わせてしまいますみませんでした。はりがみの文章を考え直します。来館する子どもたち誰もが安心して過ごせる児童館になるようこれからも取り組んでいきたいと思っております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。ご意見ありがとうございました。</p> <p>・動かないおもちゃのリニューアル おもちゃの入れ替え</p> <p>→ご意見ご要望ありがとうございます。動かないおもちゃがどれなのかわからなかったのですが、電車に関しては電池は入れておりませんが今後電池を入れる事を検討して参ります。ベルトや音の出る玩具に関しては電池を入れております。電池が無い場合は直ぐに交換しております。どのおもちゃなのか教えて頂け対応出来る物であればリニューアルしていきますので職員にお伝え願えたらありがたいです。またおもちゃの入れ替えですが、現在ある物を時々交換しております。新しいおもちゃはたくさん購入はできませんが皆さんの要望に答えて購入していきたいと思っております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>・おむつがえスペースをトイレの中にも欲しい</p> <p>→ご不便をおかけして申しわけありません。トイレにおむつ替えスペースがあると便利でいいのですが、スペースがないので、今の状況では設置出来ません。ご迷惑をおかけしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>

<児童>

・これからもよろしくお願ひします

→こちらこそよろしくお願ひします。

・がんばれ

がんばってください

→ありがとうございます。とつてもうれしひです。がんばります。

・いつもありがとう！

→こちらこそありがとうございます。これからもがんばります。

・たのしひ

→そう言つてもらえると本当にうれしひです。これからもがんばります。ありがとう

・遊戯室での時間をふやしたい

→ご意見ありがとうございます。遊戯室をいつも利用していただきありがとうございます。児童センターの中で1番人気のあるお部屋のため、ご迷惑をおかけしてすみません。たくさんのお友だちに平等に使つてもらひことや遊びの内容や年齢なども違ふため安全面なども考え、基本的には30分交代でお願ひしています。ただ次の予約がない場合は時間がある限り使うことが出来ますのでご利用くださいね。また空いてる限り予約は何回でも大丈夫です。

・ぬりえの種類を増やしほしひ

→わかりました👍どんな絵が良いのか教えてもらえるとうれしひです。職員に教えてね。

・ぬりえを新しくしたい

→時々新しくはしているのですが、好きなのがないかもしれませぬ。ごめんね。どんな絵が良いのか職員に教えてね。

・バトミントンのラケットを増やしほしひ

→ラケットは常に長い4本短い3本出してありますが、足りない場合は出していますので職員に言つてね。

・サッカーボールもほしひ

→サッカーボールは固いので当たるとけがをすることもあるし、ガラスが割れると危険なので使用できません。ごめんなさい。

・給水機があつた方がいひと思ふ

→ご意見ありがとうございます。給水機は衛生的に良くないと聞いているので置いていません。ごめんなさい。水分補給のためお家から水筒やペットボトルで飲み物を持って来てもらうのが一番良いと思ひます。また児童センターの水道水は飲む事ができますのでよかつたら飲んでくださいね。

・バトミントンのネットがほしひ(組み立て式)

→ご意見ありがとうございます。高学年になるとバトミントンはネットがある方が楽しひです。組み立て式のネットがどんな物なのか一度調べてみます。危険がなく、購入できる物であれば前向きに考えますね。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				A
		効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A
⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)			A	A	A
区分評価				A		
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□利用者アンケートの実施（公平性・透明性①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：1回(12月～2月に実施) (内容等記入) ・保護者用(80名)(前年度54名) <p>今回も幼児クラブの保護者だけでなく、一般利用者(幼稚園児・保育園児・小学生の保護者など)にもアンケートを実施しました。これまでに比べより多くの利用者からアンケートを頂くことで、幅広い層からさまざまなご意見・ご要望を頂く事ができました。下半期はお父さんにも全体の2割程アンケートを書いて頂きました。また今年度に入って小学生と一緒に来館される保護者の方が増えている観点から、アンケートの来館されたお子様の対象年齢の項目に「小学生」を増やしました。その結果低学年のお父さんが多いことがわかったので、小学生と保護者の方が一緒に遊べるゲームを増やし、児童館で楽しく過ごして頂けるよう取り組みました。これからも皆さんに満足して頂ける児童館になるよう努めていきます。またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用(100名)(前年度50名) <p>子どもたちのニーズを理解し、より心地よい児童館になるよう子どもたちの気持ちを知るためアンケート数を増やしました。また下半期は子どもたちが何を求めて児童館に来るのか知りたくて「児童館に行きたいと思った理由を教えてください」という項目を増やしました。結果「楽しいから・友だちと遊びたいから・行事に参加したいから」という理由多くみられ、児童館が友だちと楽しく遊べる場所と子どもたちが思っていることがわかりました。また行事を目的に来る子も多いことがわかったので、これからも魅力ある行事を増やしていこうと思いました。また「ひまだから、雨が降っても大丈夫、習慣化、行き慣れた、あったかい、ゆっくりできる、いついっても楽しい、本当の居場所」などの理由を見て子どもたちは居心地の良い居場所を求めていると感じました。これからも子どもたちの心が解放できる優しく温かい児童館でいられるよう努めていきます。また改善できることは素早く対応しました。</p> <p>□業務改善や工夫(効果性③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示物の見直しをし、利用者の方にわかりやすく見て頂けるように張り替えました。 ・密を避けるため、平日1週間同じ行事を企画しました。また平日来館出来ない子もいるため土曜日も行事を入れ対応しました。働いている親が多いため、放課後児童クラブに入っていたり、「習い事があるため平日は来る事が出来ないのでは」とも嬉しいです。」と保護者の方に言われました。出来る範囲で平日・土曜日に同じ様に行事を行い、たくさんの子も来館できるよう取り組みました。 ・幼児(0歳～就学児前)も行事に参加したいという声を聞いたので、幼児さんも出来るような行事には参加出来る事をおたよりで書いてお知らせしたので、幼児さんの参加も増えてきました。 ・小学生行事で定員数が決まっているものでも材料を多めに準備して臨機応変に対応しました。 ・幼児クラブの申し込み期間が終わってもクラブに入りたい子が見えたら定員が空いている限りクラブに入って頂きました。 ・コロナ感染対策をしっかり行った上で、幼児クラブの定員数を10人から12人に増やしました。 <p>□新規事業(行事)等の実施（効果性③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製スプーン作りの開催 <p>地域の方が講師となり、母親クラブと共催し開催しました。講師の方の仕事で木の廃材が出るため、その木を再利用して物作りを子どもたちにやらせてあげたいという思いを持って児童センターにみえました。木の温もりを感じる事が出来、宝物になるようオリジナルスプーン作りをやることになりました。幅広い方に参加して頂き良かったので、幼児から高校生まで対象とし募集しました。日曜日だったこともあり、家族での参加が何組もありました。また幼児はもちろん小学生にも保護者の方が一緒に来られ親子で楽しむ姿が見られました。中学生・高校生ボランティアも来てくれ、一人で参加している小学生の子のサポート・準備・後片付け・先生のお礼の言葉などを担当してくれました。「またこういう行事をやってください」「家族で楽しい時間がすごかったです」と嬉しい声をかけて頂きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋で遊ぼうの開催(ボランティア) <p>普段の遊びを見ていて、将棋に興味を持っている子が何人もいたので、地域の方に先生をお願いして、毎月3回程将棋を教えて頂きました。普段来ていない子や高学年の男子・鷺山小学校の子などの参加があり静かに盛り上がりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で遊ぼうの開催(ボランティア) <p>地域に外国人の英語の先生が見えるので、英語をもっと身近に楽しく感じてもらうとうと「英語で遊ぼう～クリスマスバージョン～」を企画し開催しました。外国の先生が2人見え幼児から大人までが参加し楽しい時間になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生のお兄さんに勉強を教えてもらう開催(下半期は中学生が参加) <p>子どもたちの学習支援になるよう岐阜大学の学生に月2回勉強を見ていただきました。宿題や問題集などを持ってきて教えてもらいました。また中学生で勉強・勉強の仕方がわからない子に対して効率的な勉強のやり方などを教えてもらえたのでやる気スイッチが入り期末の点数が上がり喜んでいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと遊ぼうの開催 <p>日光児童センターに来ている大人ボランティアの方たち・中学生ボランティアと「アイロンビーズのストラップ作り・3回」「ボードゲームで遊ぼう」「お正月遊び」を企画し開催しました。アイロンビーズのストラップ作りには幼児さん親子・小学生などたくさんの方が参加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子リトミックの開催 <p>地域の方にリトミック講師が見えるので幼児クラブに来て頂き全クラブ(6回)で親子リトミックを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マジックサイエンスショーの開催 <p>子どもたちの科学に対する興味・関心を持っていただくため、前岐阜市科学館館長によるマジックサイエンスショーを開催しました。今回はサイエンスショーに加えマジックも取り入れ、子どもたちに喜んでもらえるように内容をパワーアップしました。中学生ボランティアにアシスタント・お礼の言葉なども担当してもらい盛り上がったことで本人の自信に繋がりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニはるまつりの開催 <p>母親クラブと共催し開催しました。コロナの事もあり、感染対策をしっかりして、1部と2部定員各30人で行いました。ミニではありましたが3年ぶりはるまつりに参加者もとても喜ばれてみえました。</p> <p>□配慮を必要とする子どもへ適切な対応（効果性④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する利用者へ適切な対応をいたしました。 <p>□地元の団体・住民との協働事業等の実施（貢献性⑤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城西小学校2年生の地域の公共施設の見学を児童センターで行いました。 ・早田小学校2年生の地域の公共施設の見学を児童センターで行いました。 ・則武小学校2年生の土曜日授業に移動児童館として参加しゲームなどを行いました。 ・主任児童委員主催の4校区赤ちゃんクラブのふれあい遊びなどの指導をしました。 ・鷺山青少年育成市民会議「さぎっこクラブ」に参加し遊びなどの指導をしました。 ・城西青少年育成市民会議「親子ふれあい」に参加し遊びなどの指導をしました。 ・島公民館講座「親子ふれあい」に参加し遊びなどの指導をしました。 ・木製スプーン作りの開催(再掲) <p>地域の方が講師となり、母親クラブと共催し開催しました。講師の方の仕事で木の廃材が出るため、その木を再利用して物作りを子どもたちにやらせてあげたいという思いを持って児童センターにみえました。木の温もりを感じる事が出来、宝物になるようオリジナルスプーン作りをやることになりました。幅広い方に参加して頂き良かったので、幼児から高校生まで対象とし募集しました。日曜日だったこともあり、家族での参加が何組もありました。また幼児はもちろん小学生にも保護者の方が一緒に来られ親子で楽しむ姿が見られました。中学生・高校生ボランティアも来てくれ、一人で参加している小学</p>
--------------------------	--

	<p>生の子のサポート・準備・後片付け・先生のお礼の言葉などを担当してくれました。「またこういう行事をやってください」「家族で楽しい時間がすごせました」と嬉しい声をかけて頂きました。地域の方・母親クラブと共催し開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋で遊ぼうの開催(ボランティア)(再掲) <p>普段の遊びを見ていて、将棋に興味を持っている子が何人もいたので、地域の方に先生をお願いして、毎月3回程将棋を教えて頂きました。普段来ていない子や高学年の男子・鷺山小学校の子などの参加があり静かに盛り上がりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で遊ぼうの開催(ボランティア)(再掲) <p>地域に外国人の英語の先生が見えるので、英語をもっと身近に楽しく感じてもらうと「英語で遊ぼう～クリスマスバージョン～」を企画し開催しました。外国の先生が2人見え幼児から大人までが参加し楽しい時間になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子リトミックの開催(再掲) <p>地域の方にリトミックの先生が見えるので幼児クラブの講師として来て頂き全クラブで親子リトミックを開催しました。(母親クラブにも登録)</p> <ul style="list-style-type: none"> □利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤) ・男性トイレにサンタリーボックスを設置しました。 <p>近年、前立腺がんや膀胱がんなどが原因で尿漏れパッドを使用している男性たちを中心に、男性トイレにもサンタリーボックス(汚物入れ)の設置を求める声が高まっており、これに応えるため設置しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者がベビーカーや自転車で見えた時は門の開閉が大変なので、出来る限り職員が外へ出て行うよう努めました。とても喜ばれるので続けて行けるように努めます。 ・ミュージック時計が好きな子どもが多く、希望がある時は職員が鳴らしています。 ・保護者の方が入館カードを書いている間一人で遊びに行ってしまう幼児さんを見守っています。ちょっとしたことですが、助かりますと言われます。 ・幼児クラブの時に行う工作やプレゼントなどを一緒に連れて見える兄弟・姉妹の分も準備し渡しています。とても喜んでくれます。 ・幼児クラブの時は、サポートの職員が出来る限り下の子(赤ちゃん)や双子の子のサポートをするように努めています。但し泣いてしまう場合もあるので無理強いないように様子を見ながらお手伝いするよう心がけています。 □利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥) ・密を避けるため、平日1週間同じ行事を企画しました。また平日来館出来ない子もいるため土曜日にも行事を入れ対応しました。働いている親が多いため児童クラブに入っていたり、習い事があるため平日は来る事が出来ないのでもとても嬉しいです。と保護者の方に言われました。出来る範囲で平日・土曜日に同じ様に行事を行い、たくさん子どもたちが参加出来るよう取り組みました。 ・コロナの感染防止のため、玩具の数を減らしていましたが、消毒を徹底的に行い幼児用・児童用のおもちゃを増やしました。また、感染対策をしっかり行った上で遊戯室で体を動かすことや子どもに人気のドッジボールなど人数制限を止め子どもたちが自由に遊べようにしました。
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> □アンケートをクラブの参加者だけでなく、一般来館者にも依頼して回答してもらい、児童館に対する意見を幅広く集め、事業に反映させることができています。 □利用者からの要望苦情に関して非常に真摯に対応されている点を評価する。 ・下半期もより多くの利用者からアンケートを頂くことで、幅広い層から様々なご意見・ご要望を頂く事ができました。下半期はお父さんにも積極的にアンケートをお願いし好評なご意見を頂く事が出来ました。また子どもたちの気持ちをより理解出来るよう項目を増やしました。事業に反映させたり、今後の課題などを知る事ができました。 □大学生ボランティアによる宿題の指導や地域のボランティアによるミニコンサートの開催など地域のボランティアと協働して新規事業を多数実施している。 ・下半期も地域のボランティアと協働して多数の新規事業を行うことが出来ました。「将棋で遊ぼう」 「大学生のお兄さんに勉強を教えてもらおう」は単発ではなく毎月の行事として開催出来るので子どもたちもボランティアの先生と交流が出来、自分たちで準備などが出来るようになりました。これからもボランティア事業を増やして行きます。 □コロナ対策のために減らしたおもちゃを増やしたり、飛沫防止パネルを用いて対面で遊べる遊びを再開したりするなど、利用者の満足度の向上や利用促進に繋がる方策に努めている。 ・下半期も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底して行い、子どもたちの居場所であられるよう、安心安全な施設運営を心がけ来館しやすい環境作りに努めました。 □法人で虐待防止委員会を立ち上げ、研修会や毎月の所長会でのケース検討会などを実施し、環境的にリスク管理に努めている。 ・下半期も虐待防止委員会を開催し、児童館・児童センター職員が適切な対応が出来るように取り組みました。 ・職員が研修に参加する事で常に向上心を持ち児童館活動に取り組んでいけるように、これからも研修会を実施していきます。 □子どもの見守り体制について取り組みをしっかりとされている。 ・配慮を要する利用者へ適切な対応をいたしました。

<p>今後の取組み</p>	<p>□居場所作り ・配慮を必要とする児童を受け止め、支援の一端を担っていきます。自立を目指せるような対応や環境作り、周囲との連携を固め居場所や安心感のある児童館を目指します。また、各種関係機関との繋がりを強め、体制を強化していきます。</p> <p>□地域を大事にした活動を進める ・現在も母親クラブの方々が子どもたちの活動の企画・準備・運営をしてくださっています。来期も子どもたちのために何かをしてあげたいという地域の方々が児童館で活動できるよう支援をしていきます。</p> <p>□初めて来館した母親への支援を重視する ・今の世代の母親や家族に合った子育てに関する情報を職員が勉強しておき、0歳から就園に至るまで長期的に利用してもらえるような支援を目指します。</p> <p>□ボランティア ・子どもが自主的にお手伝いなどをやりたいという気持ちを受け止め尊重することを日常的に取り組み、主体的に施設運営に携わっているという意識が持てるように取り組んでいきます。</p> <p>□児童館の情報発信の充実 ・児童館を周知できるように今以上にコンテンツを増やしていきます。また児童館に行ってみたいといったニーズを生み出す震源地になるような、企画を発信できるようにしていきます。</p> <p>□学習支援 ・勉強が苦手・不登校・不登校気味・塾に通えない等さまざまな理由で勉強に対しての意欲がない児童が増えています。でも高校には行きたいという思いはありますのでその気持ちに寄り添っていきたいと思います。今期も大学の学生に依頼し勉強を見てもらう行事を実施します。行事だけでなく子どもたちが目標をもてるような学習支援の在り方を考え取り組んで行きたいと思います。</p> <p>□職員研修会の充実 ・今期も職員スキルアップ研修会を充実させ、6月から9月にかけて合計3回、幼児向け・小学生向け工作や遊びのメニュー講座などを開催し、職員の事業実施力の向上に努めます。また、外部講師による研修会4回、虐待防止研修会を開催し、リスク対応力を強化します。</p> <p>□広報宣伝活動の強化 ・新たに、Instagramによる広報宣伝活動を開始し、特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝活動を強化します。</p>
---------------	--

●所管課の意見

- 保護者、児童ともに80人を超える利用者からアンケートを回収し、アンケートの項目についても見直しを行うなど、より幅広く効果的に利用者の意見を聞き取る取り組みを実施している。
- ミニはるまつりを開催したり、新規講座を多数実施したりするなど、積極的に業務改善や新規事業の実施に努めている。
- 母親クラブと共催で事業を実施したり、地元の住民に講師を依頼し、様々な講座を開催するなど、地域との連携に努めている。

●指定管理者評価委員会の意見

大きな問題もなくよくやっている。
 不登校の子など、利用者が安心して職員に相談ができる雰囲気づくりができています。